

『ハトは泣いている』

-時代の肖像-

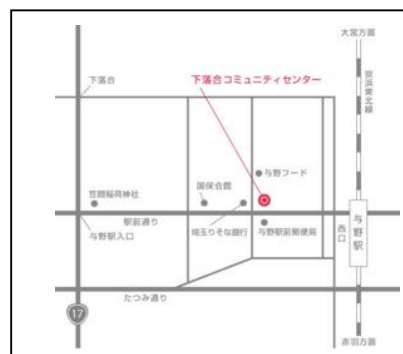
上映の集い



日時: 2016年8月6日(土) 14時～

会場: 下落合コミュニティセンター
多目的室 (与野駅西口徒歩2分)

会費: 1,000円



本編は、2014年に相次いで起きた二つの事件のほぼ1年余りを追ったドキュメンタリー。

「都美術館事件」=同館の彫刻作家展で中垣克久氏の立体作品に添えられた現政権に批判的文言に対し右翼からの抗議、脅しを受け、館側が作品の撤去を要求。

「九条俳句事件」=さいたま市の公民館が「梅雨空に『九条守れ』の女性デモ」の句を公平中立の場である「公民館の意見と誤解される」と月報への掲載を拒否。

再事件の引き金は、改憲に向かう政権の意向を気遣う行政に蔓延する付度である。

中垣作品はベルリンの画廊の招請により2か月現地で展示される。作品と事件に対するドイツ人の反応は「表現の自由」侵害への危惧、「歴史の負の遺産をどう記憶し、伝えていくか」を問い続ける国の決意を鮮明にする。これと交錯するように、問題句の掲載を公民館に求め続ける俳句会員たち。彼らを支援する市民運動は公民館を管轄する市教委の市民不在の対応を問い詰めていく。

芸術を通じた社会参加を問う彫刻家と俳句掲載を求める市民の運動は、それぞれに先の戦争の記憶にあったキナ臭さを嗅ぎとり、行政の付度がもたらす表現の自由・人権への侵害、「公平中立」の論理的破綻を露わにして行く。彼らの声は共に、この時代、過去をどう総括し、憲法九条と平和を守るために、私たちは何をするのか、何ができるかを問いかける。

撮影: 土岐省三、堀内明、谷澤彰、奥井義哉 ビデオ編集: 星野満 音楽: T・NAMBA 歌: Marko
ナレーション: 岡部政明 企画・演出: 松本武謙
制作: 「ハトは泣いている」制作委員会 お問い合わせ: 070-4227-1549 / 045-479-1424
予告編: YouTube/ハトは泣いている
公式サイト: <http://to-kill-a-dove.com/> e-mail: l_continua@yahoo.co.jp

埼玉市民ジャーナリズム講座

埼玉県には古くから独自の歴史と文化があります。この埼玉がより一層活性化、発展するために、地域に根ざした多様で「市民に開かれたメディア」の存在と活躍が不可欠です。今一度、多くのみなさんと、ジャーナリズム、メディアリテラシー、地域文化の育成などの課題を、この『埼玉・市民ジャーナリズム講座』の場を通じて共に考え、情報発信していきたいと考えています。この企画は地元・地方紙「埼玉新聞」の紙面協力のもと2014年3月から取り組んでいます。どなたでも参加できますので、お待ちしております。

■主催団体: 埼玉市民ジャーナリズム講座実行委員会

埼玉新聞サポーターズクラブ 日本機関紙協会埼玉県本部 NPO法人埼玉情報センター さぎたま新聞

■連絡先 埼玉新聞社・文化部 菊地正志 電話 653-9027 FAX048-653-9028 office@sai-tama.jp